

科目名	情報処理論			担当教員	阿部 邦美
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	EI2INF309
期待される学修成果	情報の分析に関する力、基礎力、				
アクティブ・ラーニングの要素	実習、フィールドワーク				
実務経験	(空白)				
実務経験を生かした授業内容	(空白)				
到達目標及びテーマ	プログラミング言語を学習する上で必須となるプログラミングの基本的な文法を使いこなせるようになる。また、プログラミング演習のなかで、データの収集、整理、分析の手法ができるようになる。				
授業の概要	1年生の「AI基礎プログラミングI」でPythonを取り上げたのにつづき、Java 言語を取り上げ、プログラミングの基本的な文法、およびデータの取り扱い手法について学習する。1年生のときに勉強したPythonとの違いを理解する。				

授業計画	
第1回	はじめに
第2回	Javaとは
第3回	プログラミングの書法と常識
第4回	定数と変数
第5回	算術演算子、インクリメント
第6回	文字列の演算、関係演算子、論理演算子
第7回	条件式
第8回	for文とwhile文
第9回	breakとcontinueの役割
第10回	配列とその宣言
第11回	クラス、オブジェクト
第12回	メソッド、コンストラクタ、オーバーロード
第13回	継承
第14回	総合演習(1)（ソートについて）
第15回	総合演習(2)（探索について）

事前学修	2時間	前回の講義内容について復習しておく。さらに、プログラム例を読みこなせるようにする。
事後学修	2時間	プログラムの完成と演習問題を行う。
フィードバックの方法	授業内において課題の作成方法・結果について個別に評価、コメントする。	

補足事項	
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
資料配布	なし	なし	なし	なし
参考資料	Java 第3版 入門編 ゼロからはじめるプログラミング（三谷 純 著、翔泳社） スッキリわかるJava入門 第4版（中山 清喬、国本 大悟 著、インプレス） Javaの絵本（アंक 著、翔泳社）			

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	75%	
レポート	20%	練習問題、演習課題のプログラムなどを完成する
上記以外の試験・平常点評価	5%	受講態度や授業への参加度